

01 開催概要

高松市では、新しい総合計画の策定にあたって、次代を担う若い世代のみなさんの考えや価値観を共有し、8年後の高松市の姿を描いていただく機会として「たかまつ FLAT Meeting」を開催しました。内容についてご紹介します。

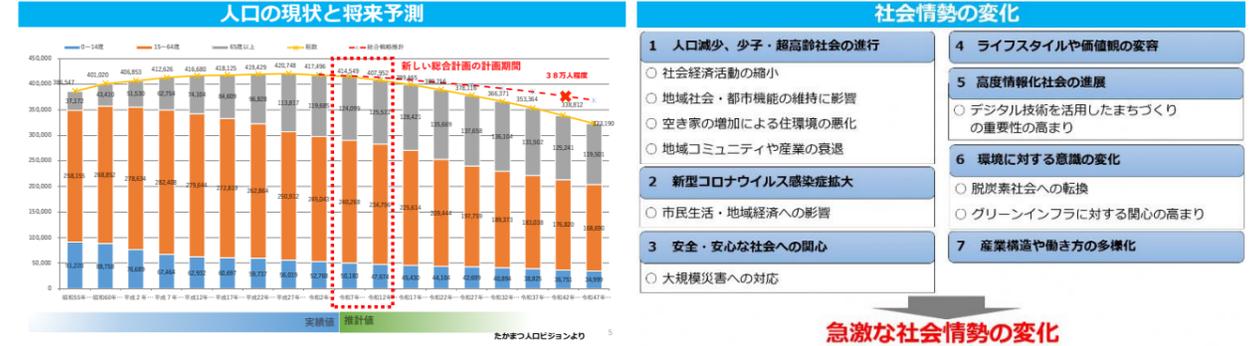


日時：2022年8月23日（火）
16:30~18:00
会場：オンライン会議
参加者数：19名
（高校生・大学生14名、社会人5名）

02 計画策定の考え方の紹介

高松市の未来の姿を考えるきっかけとするため、計画策定の基本的な考え方として計画／まちづくりの基本的な考え方を紹介しました。高松市で人口の現状と将来予測、社会情勢の変化ふまえたうえで、計画策定の基本的な考え方を紹介しました。

▼下記はその一例です。



03 未来の高松市の姿についてディスカッション

① 全班共通テーマ

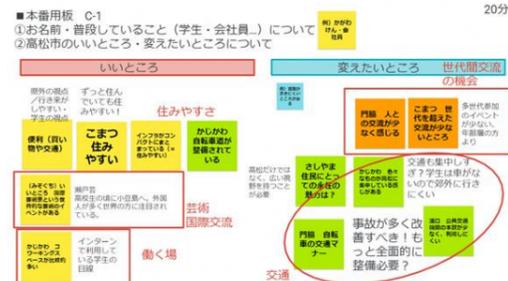
「高松市のいいところ・変えたいところ」

全体説明のあと、班ごとにミーティングを行いました。まず、全班共通テーマ「高松市のいいところ・変えたいところ」を話し合いました。

「いいところ」では、「緑が多くゴミが少ない」「芸術祭を中心に国際交流があるところ」、「コワーキングスペースが多いところ」、といった意見が出ました。

「変えたいところ」としては「交通マナーが悪い」、「世代間交流の機会が少ない」といった意見が出ました。

▼ 全体共通テーマの議論内容(例)



② 各班テーマの議論

全班テーマのあとは、班ごとに異なるテーマで話し合いました。A-C班のいずれの班においても分野の偏りなく自由な発想とアイデアを話し合いがなされました。IT技術をテーマにしていたD班では、テーマに特化した具体的なアイデアの提案が多く出されました。各班テーマと議論の中で出された意見については以下の通りです。

各班テーマについてのボード (B班) ▶



各班テーマ	
A班	<p>10年後も住み続けたい高松市にするために必要なことって何？</p> <p>①皆の10年後を想像してみよう ②住み続けるために望むことは何？</p>
B班	<p>人が集まり住み続けたいまちって、どんなまち？写真をヒントに、考えてみよう。</p>
C班	<p>もっと魅力的な高松市にするためにわたしたちができることって何？</p> <p>全班共通テーマ「いいところ」変えたいところ」を振り返りながら、考えてみよう。</p>
D班	<p>IT技術を使って高松市のこんなところをもっとよくできるのでは？</p>

04 参加者が感じたこと

参加した皆さんからは、「別の世代の方々の意見が聞けて良かった」、「様々な視点からの意見を聞くことができた」などの感想がありました。

(以下は一部抜粋)

- ✓ 自身の意見を発信できるいい機会であり、若い人のフレッシュな意見も聞くことができてよかった。
- ✓ ファシリテーターの方がいたので、議論が停滞しても気づきや閃きを与えていただき、話しやすかった。
- ✓ 時間がもっとあればよかったなと思う。
- ✓ 地域の問題は違う視点から見ると多々あるということがわかった。
- ✓ 問題点の数以上に高松市をよりよくする案が多く出た。
- ✓ 人数が分かれていて意見を伝えやすかった
- ✓ 持続可能なまちづくりには環境問題が大きく影響すると思っていたが、他の方の意見を聞き、交通面などの安心・安全なまちづくりも大切だと改めて気づかされました。
- ✓ 地域に住んでいる人たちが香川県に対してどのような評価をしているのか知ることが出来た
- ✓ 当たり前かもしれないが、人それぞれ、感じていることが違うことがわかった。